

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、25～28.5℃台を示し、やや高い水温でした。

〔漁況概要〕

○中小型まき網——西彼地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり9トンの水揚げで、前週の2.3倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週を上回った（前年並み）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。橋湾地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり9トンの水揚げで、前週の1.5倍（前年を下回った）。

○イカ釣——ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり60kgの水揚げで、前週の2.1倍（前年並み）。壱岐勝本地区では1日当たり3トンの水揚げで、前週の5倍（前年を上回った）。

○定置網——北松生月地区では、マアジなどが1日1統当たり1トンの水揚げ。松本漁場では、14日で今期の漁を終了した。対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり310kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり336kgの水揚げ。

○一本釣——北松宇久地区では、イサキが1日当たり507kgの水揚げで、前週の1.7倍（前年を上回った）。北松小値賀地区では、イサキが1日1統当たり48kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。野母地区では、マアジが1日1統当たり20kgの水揚げで、前週の2.5倍（前年を上回った）。

○延縄——北松小値賀地区では、アマダイなどが1日1統当たり20kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（7/14～7/18）5日間の沖合イカ釣り船、船凍船は、赤イカ漁及び日本海（大和堆～武蔵堆周辺海区）へ全船出漁した。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～山形沖～秋田沖～青森沖～北海道西沖にかけて出漁した。

境港基地の小型イカ釣り船 入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）